

太宰府市教委

東小教室に電磁波防止シールド

許可から一転保留

太宰府市立太宰府東小の保護者が教室に電磁波防止用シールドを貼付したいと申し出たのに対し、市教委の

関敏治教育長は一度許可したものの今月保留としたことが分かった。保護者の一人で同小の元PTA会長、笠

利毅さん(49)と市議3人が27日、教育長に保留を撤回するよう要望した。

東小から約100メートルに携帯電話基地局がある。笠利さんらのアンケート(135人回答)で、校舎3階の4、5年生を中心にイライラ

や口内炎、動悸^{どうき}などの症状がある児童が多いことが分かった。このため、保護者有志が1

人2000円の寄付を募ってドイツ製の電磁波防止シールドを購入して貼ることにした。窓に貼る透明フィルムで、1教室約3万円か

かるという。

市教委は昨年12月21日付で、3条件を付けてシールド寄付の申し出を受けると文書回答した。ところが、1月17日付文書で「市議会特別委で議論がなされている状況もあり、市長部局との協議の結果保留させて」とした。市議らは「不安を持っている人は多い。早く撤回して」と要望した。

【勝野昭龍】